

2010年1月25日
MR/J03/10



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

メディア用原稿
非公式記録

国際連合大学 広報部
〒150-8925
東京渋谷区神宮前5-53-70

Tel.: 03-3499-2811
Fax: 03-3499-2828
E-mail: media@unu.edu
Website: <http://www.unu.edu/>

国連大学、メキシコのカルデロン大統領を迎えて 第16回ウ・タント記念講演を開催

イベント： 第16回ウ・タント記念講演
講演タイトル： 人類の共通遺産である地球環境の保全～気候変動対策の公平な合意をめざして～
講演者： フェリーペ・カルデロン・イノホーサ メキシコ合衆国大統領
日時： 2010年2月2日（火） 午前10時15分～11時15分
場所： 国連大学本部（渋谷区） ウ・タント国際会議場
主催： 国連大学、日本学術会議
協賛： 朝日新聞、財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）
後援： 株式会社イースクエア

- ウ・タント記念講演シリーズは、著名な有識者や世界の指導者が、世界の人々や国々が21世紀に直面する問題や機会について講演する場となっている。このシリーズや過去の講演についての詳細は http://www.unu.edu/uthant_lectures/ で閲覧可能。
- カルデロン大統領の講演のテーマは気候変動と人類共通の遺産の保全である。
- 2010年11月にメキシコで開かれる COP16 気候変動会議に先立ち、国際社会は気候変動の影響を緩和し対応するための枠組の合意を目指して協議することになっている。カルデロン大統領の講演は、COP16 会議主催国の考え方を直接聞くことのできる好機会である。
- 講演後、財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）の浜中裕徳理事長の司会による討論が行われる。参加者は船橋洋一氏（朝日新聞主筆）、武内和彦氏（国連大学副学長）。
- 日英スペイン語の同時通訳あり。
- 参加できない方のために、ウェブキャスト <http://videoportal.unu.edu/e44> でもライブにて閲覧可能（後日閲覧も可）。

本講演の取材を希望される方は、国連大学広報部の谷野（やの）までご連絡ください。
電話：03-5467-1311、Eメール：media@unu.edu

講演者について

フェリーペ・カルデロン・イノホーサ大統領は2006年12月1日にメキシコ大統領に就任。任期は6年。2003-2004年にはエネルギー省長官を務める。メキシコのエネルギー部門のトップとして、またメキシコ国営石油公社（PEMEX）、連邦電気委員会議長、およびブルス・イ・フェルサ・デル・セントロ電力会社の理事会議長として、国有企業の近代化を推進した。政治家としては国民行動党で調査担当秘書（1987年）、全国青少年担当秘書（1991年）、事務局長（1993年）、連邦選挙機関のPAN代表（1994-1995年）を歴任。1995年にミチョアカン州知事選に候補として出馬。2000年、第58回国会の国会議員に当選し、PANの国会グループ・コーディネーターに任命される（2000-2003年）。カルデロン大統領は法学士（エスクエラ・リーブレ・デ・デレーチョ）、経済学修士（メキシコ自治工科大学）、および行政学修士（ハーバード大学ジョン・F・ケネディ・スクール）の学位を持つ。また在メキシコ米商工会議所から「NAFTA 議会指導者賞」、メキシコ製造業会議所（CANACINTRA）から「CANACINTRA イーグル賞 行政上の功績賞」を授賞。1997年から2000年まで世界経済フォーラムの「世界の未来のリーダー」のメンバーを務める。

=====

1975年に開設した日本に本部組織を持つ唯一の国連機関。世界各地に広がる研究所や研修センターのネットワークとして学術活動を展開しており、東京の国連大学本部はその調整役を務めている。本部にはサスティナビリティと平和研究所（UNU-ISP）が、横浜には高等研究所（UNU-IAS）が設置されている。

MEDIA ADVISORY